Hakone Deer Action

企業・学校・NPO パートナーシップ
ミーティング　令和8年10月4日(日)

Hakone Deer Action (HDA)

設立

令和5年11月

地域貢献を目的に団体を創設

会員数

10名 (現在)

有志メンバーで精力的に活動中

活動拠点

箱根町を中心に活動

豊かな自然環境と生態系を守る地域ネットワーク

主な活動内容

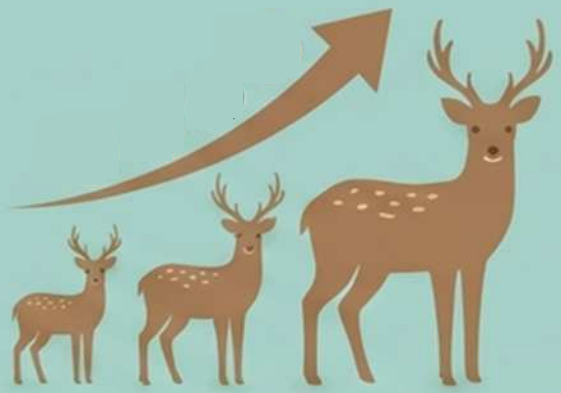
自然体験・保護・環境調査
および広報活動

HDAの目的

1. ニホンジカに関する諸問題への対策
2. 地域住民や行政、自治体など協力体制を築くこと
3. 自然環境を保護する人材の教育普及

ニホンシカに関する問題

ニホンジカの数が近年急増中



【植物・植生への影響】

希少種を含む、様々な種類の植物や樹皮を食べる







【生態系と土壌への影響】

植物の減少により、希少種の餌資源がなくなる。また、土壌の流出や景観の崩壊を引き起こす。



ニホンジカが増えるとダニが増える

生息数と密接に関係

シカが増えるとダニなどの寄生虫も増える。



感染症リスクの増加



ダニは病原体を保有することがあり、そのダニに刺されることで感染症が発生する事がある。

推奨される野外対策

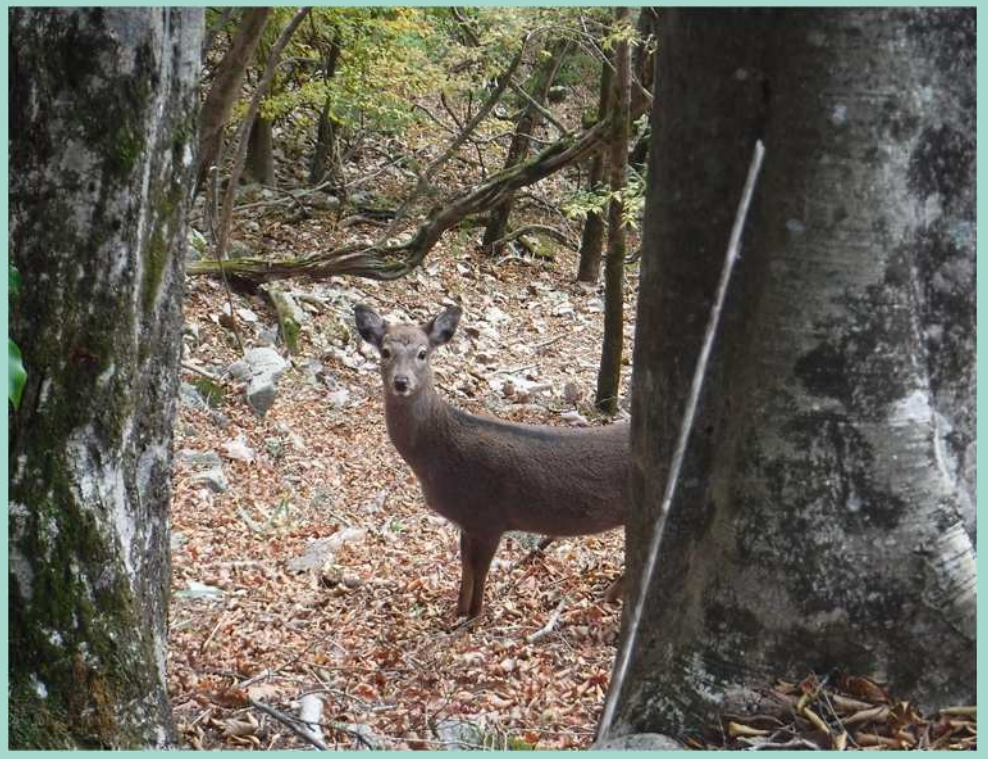


［長袖］　［長ズボン］　［手袋］

肌の露出を抑えることがダニ対策としては有効。
無理に引き抜いてはいけない。

ニホンジカに関する問題(箱根町では)

- 明治時代以降100年近くシカの生息が確認されなかった箱根地域で、1980年代頃から目撃が目立つようになった。
- 2013年度に仙石原湿原での活動が確認され、2015年には地域全域に影響が拡大。



活動実績(植生保護柵の設置)

箱根の森にて、42 名参加協力のもと、

全長 80 mの植生保護柵の設置を実施







減少していたヒヨドリバナの開花も観察できました！

活動実績(植生保護柵の設置)

やすらぎの森にて、約 **70** 名参加協力のもと、

80 ｍと **100** ｍの植生保護柵を2か所に設置





活動実績(台ヶ岳ブナ林調査)



箱根の山林を代表する若いブナは非常に少なかった。

ブナが作る種子数も少なく、発芽率も悪かった。

活動実績(その他)

箱根ジオパーク エキスポ（Hakone Geopark Expo）





活動実績(その他)

仙石原高原マーケット







来月開催イベント

- 植生保護柵内の手入れのイベントを実施予定。
- 地元の講師をお招きして、箱根の自然の魅力を伝えていただきます。
- 参加申し込み受付中なので、ぜひ参加お待ちしております。


ご清聴ありがとう
ございました
HAKONE DEER
ACTION